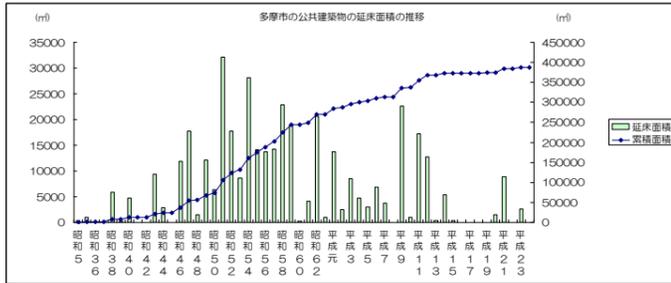


多摩市施設白書 概要版

【背景と特徴】

＜ニュータウン開発と公共施設＞

多摩ニュータウンの開発が始まった昭和46年から、急激に人口が増え、それに伴って公共建築物、いわゆるハコモノが増加した。



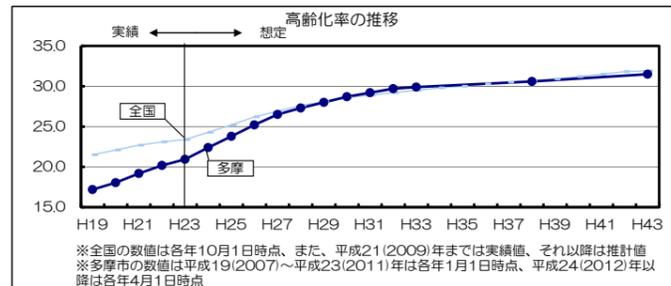
＜市の財政状況＞

求められる行政サービスの増加で、財政規模は拡大傾向にある。市税等の経常的な収入において、毎年継続して支出する固定的な経費の割合を表す経常収支比率は、ここ数年上昇しており、新たな需要に対応した施策の実施ができないため、公共施設の適切な改修は困難な状況にある。



＜高齢化＞

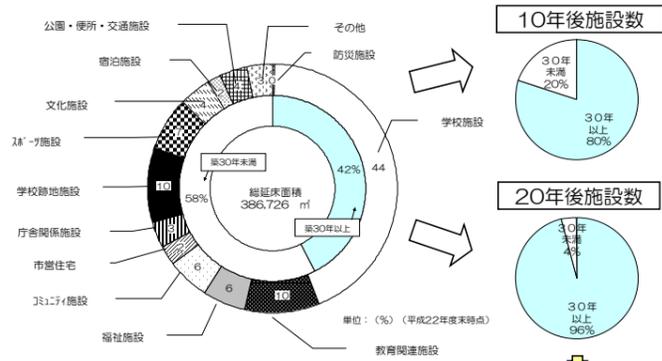
平成23年4月からの10年間で、人口はほぼ変わらないが、高齢化率は21.1%から29.9%になることが予測されている。このことから、歳入の根幹である市民税の増加は望み難くなる一方、福祉や医療にかかる扶助費などの義務的経費が増加することが予想される。



【現状と課題】

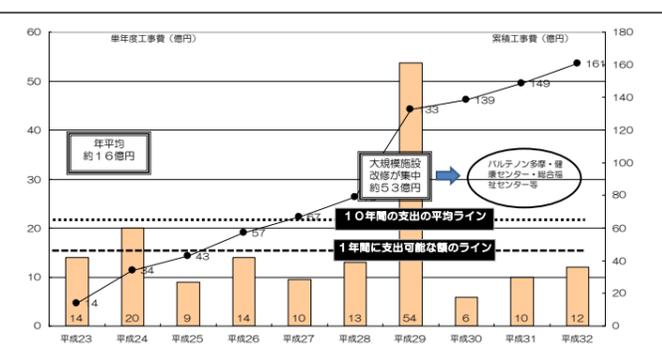
＜施設の老朽化と改修費用＞

築30年で改修を行う必要があり、大きな費用がかかる。20年後には施設の96%が築30年以上になる。同時期に、本白書では記載していない都市基盤 (道路、橋梁、上下水道等) の整備も求められる。

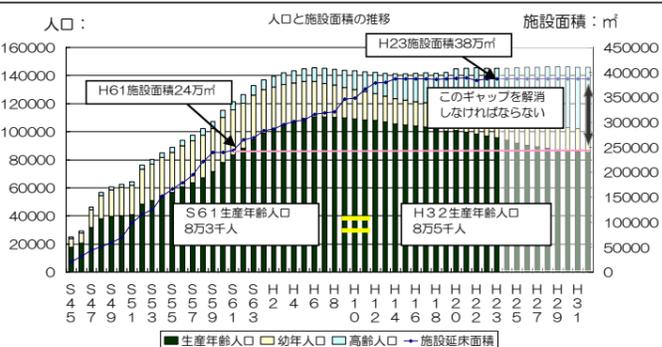


都市基盤の老朽化

建設後30年の改修費だけでなく、さらに30年後の改修に備えた積立(基金)も必要となる。
 ①今後10年で多摩市が支出可能な額 約9.7億円
 ②建設後30年の改修工事などに必要な経費 約16.1億円
 ③建設後60年の改修工事に備える基金 約17.3億円



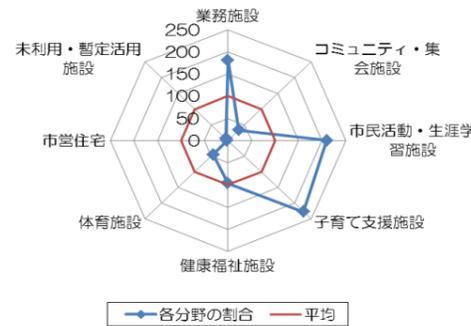
10年後も人口はほぼ変わらないが、労働力の中心となる15歳以上65歳未満の人口は、昭和61年とほぼ同じにまで減少する。当時は14人で1人の高齢者を支えていたのが2人で1人を支えることになる。そして、施設は当時の1.5倍になる。



【分析】

＜性別別経費の状況＞

業務施設、市民活動・生涯学習施設、子育て支援に平均以上の経費がかけられている。

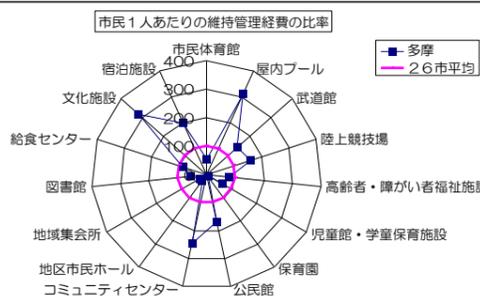


＜各分野ごとの状況＞

- 業務施設
出張所は窓口職員が配置されているため、1mあたりの経費が多い。
- コミュニティ・集会施設
コミュニティセンターは施設機能の充実が図られた結果、地区市民ホールに比べて多くの経費がかかっている。
- 市民活動・生涯学習施設
複合文化施設 (バルテノン多摩)、図書館本館は施設が大きく、多くの経費がかかっている。
- 子育て支援施設
保育園は施設が大きいため経費がかかり、利用者1人あたりコストも高い。
- 健康福祉施設
総合福祉センターと健康センターは施設が大きく、経費が多くかかっている。
- 体育施設
総合体育館、温水プールは光熱水費や施設管理の業務委託料等により、多くの費用がかかっている。
- 市営住宅
関戸第二住宅、関戸簡易耐火住宅に多くの維持管理経費がかかっている。
- 未利用・暫定活用施設
開放部分が多い東永山複合施設、西永山複合施設は施設管理人を配置しているため、多くの維持管理経費がかかっている。

参考【東京他市との比較】

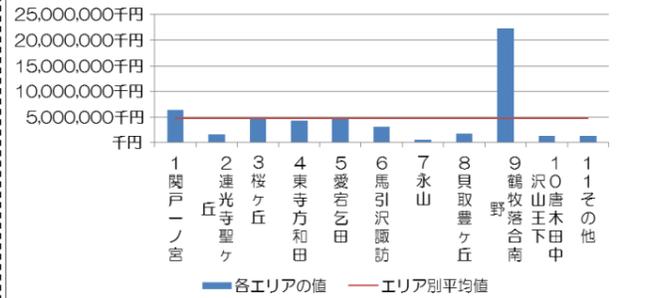
他市の市民と比べて、多摩市民は屋内プールと文化施設は3倍以上、コミュニティセンター、宿泊施設は約2倍以上、武道館、陸上競技場、公民館は約1.5倍以上の経費を負担している。



＜エリア別ライフサイクルコスト＞

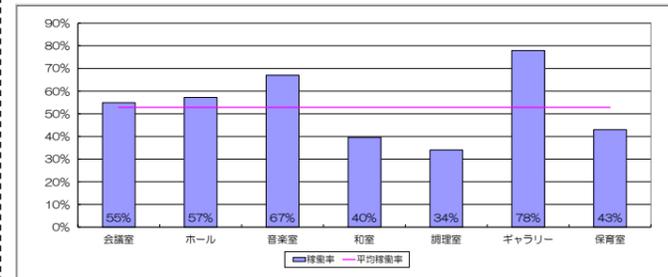
※ライフサイクルコストを、将来的にかかる改修費のこととしています。

9鶴牧落合南野は複合文化施設 (バルテノン多摩)、温水プール、総合福祉センターがあるため高く、3施設で19.6億円となる。



＜貸室性質別稼働率＞

平均で5割強しか使われていない。貸室利用時間のうち、約半分は使われていないことになる。



＜なんでもランキング＞

施設名	延べ床面積
1 複合文化施設 (バルテノン多摩)	15,338 m ²
2 温水プール	11,054 m ²
3 総合福祉センター	9,103 m ²
4 資源化センター	8,910 m ²
5 本庁舎	8,728 m ²

施設名	施設の維持管理に係る経費
1 本庁舎	201,044 千円
2 複合文化施設 (バルテノン多摩)	162,878 千円
3 南野調理所	154,988 千円
4 永山調理所	151,001 千円
5 温水プール	133,323 千円

施設名	施設の運営・事業に係る経費
1 複合文化施設 (バルテノン多摩)	366,966 千円
2 多摩保育園	243,159 千円
3 貝取保育園	225,522 千円
4 健康センター	218,395 千円
5 図書館本館	217,628 千円

ライフサイクルコスト

施設名	ライフサイクルコスト
1 複合文化施設 (バルテノン多摩)	7,900,257 千円
2 温水プール	6,115,138 千円
3 総合福祉センター	5,671,320 千円
4 永山公民館	3,552,351 千円
5 総合体育館	2,835,684 千円

※一般的なライフサイクルコストは建物を企画・設計・建設し、その建物を維持管理して、最後に解体・廃棄するまでの、建物の全生涯に要する費用の総額のことを指します。